



選手と応援が1つになって

2月19日小学校体育館で、「第8回村民ふれあい綱引き大会」が行われました。

1チーム8人で、1本の綱を引くという、競技としては単純なこの綱引きですが、不思議なもので家族や地域の声援を背に受けると思わぬ力が出るようです。盛り上がった試合では、大きな声援を背に8人の選手力が10人にも20人にも感じられたことでしょう。

(気になる結果は13ページに掲載してあります。)



熱戦が続いた綱引き大会

広報 ひがししらかわ

1995
平成7年

3

No.405

人口の動き

—2月末住民登録人口から—

世帯数	903	世帯
人口	3,381	人
転入	2	人
転出	5	人
出生	2	人
死亡	3	人

先月と比較して3人減
 昨年と同月と比較して
 61人減



大型事業完成の年 そして未来への芽が育つ!

新年度予算特集

平成七年度の村の予算が決まりました。

三月六日から開かれた村議会定例会は、総額四十八億五百一十万円余の村の当初予算を議決して、三月九日に閉会しました。

平成七年度は、第二次総合計画最終年度にふさわしく、継続して進めてきた中学校改築工事、新たに建設する学校食堂が完成、誘遊街道、東円畑線、日向本線などの村道整備事業も完成を迎えます。

さらに、こうした各種事業の基盤に立って、今年から『若者定住総合対策』がスタートするとともに、これから十年の村づくりの方向を定める第三次総合計画の策定など新しい『芽』を育む年となります。

いよいよ四月一日からは、この新しい予算による平成七年度のスタートとなりますが、今月は、「新年度予算特集」として私たちの暮らしと直接かかわりの深い村の予算を「道」、「水」、「人」、「産業」、「健康」という五つのテーマから眺めてみたいと思います。

道

越原バイパスの約50%が、
秋に完成。供用が開始されます

越原バイパス

竣工式は9月の予定

今年の道路整備予定は、左の表のとおりですが、最も気になるのは何といっても主要道です。昨年は五加バイパスが全線開通し、残るは国道二五六号の神土の一部と越原地区となりましたが、このうち越原バイパスは、今月から越原橋〜今田屋までの区間が使用可能となり、今年八月までに今田屋〜安江自動車までの間が舗装まで完成。九月には竣工式が予定されています。



陰地地内に新しい風景

新年度道路整備予定 14 路線

- ☆農村総合整備モデル事業（3 路線）
 - ・日向本線（改良200m・舗装600m）
 - ・二本松線（下親田 改良420m）
 - ・前山線（平 改良100m）
- ☆県営畑地帯総合整備事業（1 路線）
 - ・柏本宮代線（開設720m）
- ☆中山間地域活性化事業（5 路線）
 - ・中川原線（平 橋梁架設、橋長59.9m）
 - ・暮石線（中通 舗装615m）
 - ・外山下線（神付 舗装358m）
 - ・神付線（神付 舗装314m）
 - ・小峠線（中谷 舗装383m）
- ☆誘遊街道整備事業 … 最終年度
 - ・誘遊街道（改良187.7m・舗装923m）
- ☆公共道路改良（1 路線）
 - ・東円畑線（上親田 改良舗装200m）
- ☆林道の開設、改良（3 路線）
 - ・奥新田林道（大沢 開設2000m）
 - ・大沢林道（大沢 舗装500m）
 - ・穴沢林道（黒淵 改良400m）

工事開始から四年の月日が経過した越原バイパスは、これでその約半分の一、八六〇が完成となり、残りの加子母村境までの調査設計に着手します。また、神土地区では、継続で行っている中学校前から病院前までの区間の改良が終了し、山側に歩道がつけます。

誘遊街道はいよいよ今年開通します

その名も「誘遊街道」。平川向かいに新たに開設されたこの道路は、村道として国道二五六号のバイパス的な意味も持っています。この道路の工事が始まったのが平成四年。今年が、最終年度として改良を一八七・七と全線の舗装が予定さ

れています。また、中の産業団地へ通じる東円畑線も舗装まで全てが完成。産業団地には、新しいタイプの製材施設が今年建設されます。

集落道も

ますます充実

地域の集落道もより充実を図ります。継続中の日向本線は、田口重夫さん宅から村雲勝さん宅まで二〇〇の改良と全線六〇〇が舗装し今年完成。新たに、下親田の基幹農道から二本松墓地を経て安江保表さん宅下へ通ずる

二本松線、平の田口武さん宅から山田土建事務所までの前山線の改良も行います。また、現在つちのこ館上で建設中の中川原線の橋梁も今年完成します。快適で便利な村を目指して今年も「道づくり」に全力投球していきます。

☆総額 48億511万6千円（12・0%増）

● 一般会計	30億5000万円（19・70%増）
● 国民健康保険特別会計	2億5000万円（11・61%増）
● 分収造林費特別会計	300万円（50・0%増）
● 老人保健特別会計	3億5000万円（19・45%増）
● 有線放送電話特別会計	2300万円（4・17%減）
● 簡易水道事業特別会計	6億4000万円（15・79%減）
● 病院事業会計	4億8911万6千円（11・04%増）

新年度の予算は、前年度を十二・〇割上回る四十八億五百万円余となりました。これは、今年度から継続中の中学校校舎の改築をはじめ国や県の制度事業の継続や新規を含め、一般会計で前年にくらべ一九・七割と大幅な伸びとなったことによるものです。

また、それぞれの目的によって設置した六つの特別会計の中では、大幅な伸びとなったものに国民健康保険特別会計と老人保健特別会計があります。この二つの会計の伸びは、高齢者の増加に加え、医療費の値上げに伴う給付費を見込んだものです。特に満七十歳以上の高齢者の医療費を給付する老人保健会計は大幅な伸びとなりました。

〈次ページに続く〉

水

水道はいよいよ給水開始！

五加地区に「白川茶屋」オープン

試験給水の

開始は六月中

平成四年からスタートした簡易水道事業。今年からいよいよ一部地域で待望の給水が始まります。六月には、大明神と黒瀨、栃山の一部で、七月には陰地、日向、曲坂の一部の合計約二百四十戸で給水が始まる予定です。ともに最低一か月間は、料金を取らない試験給水期間とし、引き続きいて本格的な給水となります。

の大林洞、国道沿い、越原郵便局から栃山の加藤裕輝さん宅までの配管工事のほか配水池、圧力調整池、ポンプ場を三か所づつ建設し、また、消火栓を五十四基設けます。

大明神川を水源とする簡易水道の完成は平成九年。まだ少し時間はかかりそうですが、今年も水道事業に六億四〇〇〇万円の予算を見込み、一歩一歩確実に進めていきます。

五加バイパスの新名所

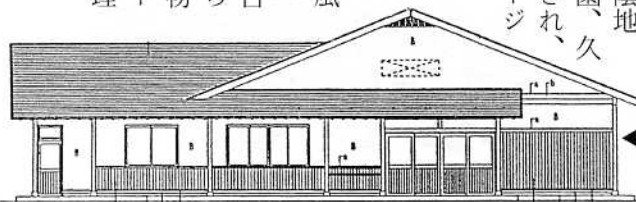
白川茶屋で一服

清流白川を生かした川のふれあいゾーン親水公園は、これまでに陰地に瀬音公園、平に鮎ヶ瀬公園、久須見に五介の滝公園が整備され、六年度には、中川原にコテージも作られ、それぞれの場所の名所となっていますが、現在、五加バイパスの柏本橋下野側に建設中の「白川茶屋」も白川沿いの新しい風景となりそうです。

今年六月ぐらいの完成を目標に急ピッチで工事が進められているこの施設は、特産物直売施設。五加の婦人グループ「美味作」の皆さんが管理



黒瀨地内の水管橋架設工事



白川茶屋



を行い、その名のとおりに白川茶の販売はもとより農産物や、五平もちなども販売する計画。施設にはいろいろの間などもあり、まわりの景観にピッタリ。また、この白川茶屋の敷地は五加白川清流公園として、七年度に舗装や植栽、ベンチなども設置されます。

阪神大震災を教訓に 災害対策を強化

自然は時として猛威をふるいますが、阪神大震災を教訓に村では災害対策にも力を入れます。

これまでの防災計画の見直し策定のほか、消防無線通信施設を設置します。これは、例えば地震など非常の際、有線が不能になる場合が考えられ、そうした時の貴重な連絡設備です。役場に基地局を置き、地域や消防団関係などに六十九基の移動局が設けられます。

議会費 4,640万円
その他 214万円



一般会計の歳出を科目別に見る

一般会計の主な使い道については、五つのテーマにそって上で紹介しましたが、科目別に歳出を見てみると右のようなグラフとなります。

大きな割合を占めているものに総務費、農林水産業費、教育費があります。このうち全体の二十一・七五割を占める教育費は、前年度と比較すると、二百六十八・九七割という大きな伸びとなりました。

人

新しい取り組み目白押し “若者定住” に 真っ向から取り組みます

一学期からは

新校舎で授業開始

第二次総合計画の最終の目玉ともいえる中学校改築。昨年十月からスタートした工事は、現在急ピッチで進められています。今年七月中には完成の予定で、二学期からは、いよいよ新校舎での授業が開始されますが、ここで授業開始までのスケジュールを簡単に紹介しましょう。旧校舎からの引っ越しは、夏休みに入った八月初旬を予定し、取り壊しは、八月の



中学校完成予想図

中旬ころ。また、引っ越しから取り壊しまでの間に、不用品販売やお別れ会、一般開放などが予定されています。取り壊しの終わった跡地には九月以降、来春完成を目指して学校食堂の工事がスタート。慌ただしい一年になると思いますが、子どもたちにとっては、思い出に残る年となることでしょう。

若者定住対策に

全力投球します

現在、村に住んでいる中学校卒業年代の十五歳から三十歳までの、いわゆる“若年層”の数は五百十八人（一月末現在）。これは、村の全人口の一五・二割に過ぎません。また、平成六年一年間に村に誕生した子どもはわずかに十一人。高齢化問題とともに将来の村を考えていくうえで、若者の定住は大きな課題となります。

村では「若者定住総合対策」を掲げこれまで以上にこの問題に真っ向から取り組んでいきます。今まで実施してきた新規就業者研修や若手後継者研修などの継続はもちろん、いくつもの新しい試みを長期的に実施します。

その一つが“人づくりアドバイザー”の設置です。この制度は、五十歳くらいまでの人望の厚い人を五人程度アド

バイザーに任命し、就労や結婚のことなど若者の将来設計に手をさしのべていく相談窓口。気軽に利用してほしいと思います。また、若者の定住を考え、曲坂に二か年の継続で五加の村営住宅並みの住宅を五戸建設します。

興味ある試みとして紹介したいのは、「若者ふれあい体験事業」です。この事業は、例えば二月から村で活動している森の交流大使のように、都会の女性で山村に興味を持っている人、約二十人を夏場、村に招待し、二泊三日程度で村の独身男性と一緒に山仕事などの体験をしてもらおうというもの。詳しい内容は決まり次第お伝えしますが、皆さんの参加をお待ちしています。

はなのき会館の

文化活動もより充実

村の文化の拠点、はなのき会館は、より文化活動を充実させていきます。新年度は、文化講演会が予定されているほか、映画会やコンサートなども計画。また、隣接して建設されたはなのき別館は、多目的ホールとしての設備が整いました。この会場を使って、

最初に結婚式を行うのは、どんなカップルでしょうか。今から楽しみになっているような施設の誕生です。



はなのき会館の活動は一層充実

この教育費の伸びは、六年度からの継続で実施する中学校校舎の改築工事と新たに建設する中学校食堂の建設費が含まれたことによるもので、中学校の施設整備に五億二百万円余が計上されました。

また、教育費に次いで大きな割合を占めているのは農林水産業費です。この農林水産業費も前年度とくらべると四十五・四割という高い伸びとなっています。これは、七年度から畜産農家の支援策の一つとして新たに実施する畜産環境施設整備事業がその伸びの主な理由です。

前年度にくらべ五十五・一割と高い伸びとなったものに消防費があります。阪神大震災の災禍を教訓としてより一層の防災体制を整備していくことは必要不可欠です。新年度は、消防防災無線を設置し防災体制の充実を図ります。反対に前年度と比較して、五十一・一九割減の大幅な減少となったものに衛生費があります。この減少の理由は、保健センターの建設が終了したことによるものです。

一般会計全体では、三十億五千万円となり前年度比十九・七割の増額となりました。

健康

待望の保健センター完成！ 保健・福祉ゾーンが実現します

健康は全ての基本 保健センターは強い味方

平成六年度事業で建設された保健センター。いよいよこの三月に完成し、四月から利用開始となります。これまで、村内の諸施設を利用して行ってきた各種検診や健康相談などはこの施設で実施されることとなり、病院との一体的な活動で、健康づくりの基本で



急ピッチで工事の進む保健センター

ある早期発見や、早期治療に大きな期待が寄せられます。また、この保健センターの二階は、母子保健と助産の機能を兼ね備える母子健康センターです。村にとって一人でもたくさんの子どもが誕生することは、村全体の喜びであり、活性化の潤滑油にもなります。新しい母子センターはホテル並みの設備。今年も生命の誕生と健やかな成長を応援します。

待望の保健センターの誕生は、せせらぎ荘、病院を加えあの一体に保健、福祉、医療ゾーンを実現します。

お年寄りや介護者を 温かく見守ります

二月末現在、村の高齢者比率は約二十六割。高齢化は着実に進行しています。村では、「お年寄りが元気なら村中が元気」を合い言葉に、今年もさらなる高齢者福祉の充実を図ります。オープンして三年目を迎えるせせらぎ荘では、男性職員一人を増員し、サービスの充実を図っていくほか、こもれびの館で実施している生きがいづくり事業も一層の充実を目指します。また、今年の新しい試みの中



こもれびの館での生きがいづくり事業

には、一人暮らしのお年寄りを対象に日帰りで実施する「お年寄り旅行」や家庭で痴呆や寝たきりなど介護を要するお年寄りを抱える介護者を対象に、これも日帰りで慰労を兼ねて温泉などへ行く研修会も計画中です。

村には、現在六十五歳以上で、一人暮らしのお年寄りが約六十世帯、夫婦だけの世帯が約七十世帯あり、今後も増え続けることが予想されます。こうしたお年寄りを励ます機会として、これまで一人暮らしのお年寄りに毎月食事サービスを行ってきたボランティア団体かすみ草では、今年から独居の人の加え、七十歳以上の夫婦だけの世帯へも年三回くらいの予定で食事サービスをやっていく予定です。

健康づくりに始めませんか、 家族そろってパターゴルフ

新年度には、こもれびの里に新たにパターゴルフ場や散策道などが整備されます。ちょうどはなのき会館とこもれびの館の中ほどに作られるパターゴルフ場は全部で九ホール。誰でも気軽に楽しめるパターゴルフを家族で始めてみてはいかがでしょうか。

一般会計の 歳入を見る

一般会計三十億五千万円を支える歳入についてを表したものが左のグラフです。

歳入は、村が自主的に収入できる「自主財源」と国や県に依存する「依存財源」とに大きくわけることができます。

歳入全体では、依存財源が二十五億七千七百七十二万円、全体の八十四・五割となり、相変わらず大きなウェイトを占めています。依存財源の中でも、国から交付される地方交付税は、歳入全体の四十三・二割を占める一億三千二百万円が予定されており、これは、前年度と比較すると二億円の増額となっています。

中学校校舎改築費の負担金や補助金、中学校給食施設の建設費補助金などが含まれる国庫支出金は、前年にくらべ五十五・九三割という高い伸びが見込まれています。

村が国から借り入れる資金、村債は、借り入れる以上、返済していかなければなりません。今後の財政事情を考慮したうえで極力有利な起債を活用してはいますが、中学校の

産業

都会の若い女性の感性に期待

“森の交流大使事業”

指導農業士を設置し、

農業経営を応援

新年度の農業面での注目は、指導農業士の設置でしょう。

この制度は、農業各分野に携わっている、いわゆるスペシャリストの皆さんを指導農業士に任命し、生産面での技術指導はもとより後継者の育成などの相談窓口として活動をしていただくものです。

農業に従事する皆さんにとって頼もしい相談相手となるのではないのでしょうか。

また、生産面では、今年は五加茶工場に作業の合理化を目的に生葉管理機を導入するほか、肉牛など畜産関係者への支援の一環として、老朽化した神付のプラントに代わる新しい環境施設を建設し、また村内四か所の牛鶏舎の環境整備などを行っています。

期待しています

新しい特産品

現在、味の館隣に建設している二号館。その味の館の第

二工場は、五月ころから稼働する予定です。この施設では、これまでできなかった缶詰やレトルト食品を作ることが可能になります。

今まで開発された“とまとのまんま”や“しゃっきり漬け”などヒット商品に次ぐ新しい特産品の誕生に大きな期待が寄せられています。

産業団地の製材工場

今年工場などを建設

中通の産業団地には、今年いよいよ製材工場と事務所などが建設されます。この施設は、昨年、村内の製材業者や素材業者などで設立した東白川製材共同組合が主体となって行うもので、平成八年に機械を導入し稼働となりますが、今年はその準備の年。

この施設が完成すれば、コンピュータ化により、より早くより正確な製品が作り出されます。

魅力ある職場づくりを

応援します

地域経済を考慮していくうえで、工業は大きな役割を担っています。しかし、こうした商工業を支える中小の企業に勤める人や建設業、林業などに携わっている人はこれまでどちらかとい

えば福利厚生面で満たされていませんでした。

村では、若者定住を考慮に入れ、魅力

ある職場づくりを目指して退職金制度の拡充を目的に、中小企業退職金共済助成制度を実施し、退職金共済の普及を図ります。

私たちも村民です！

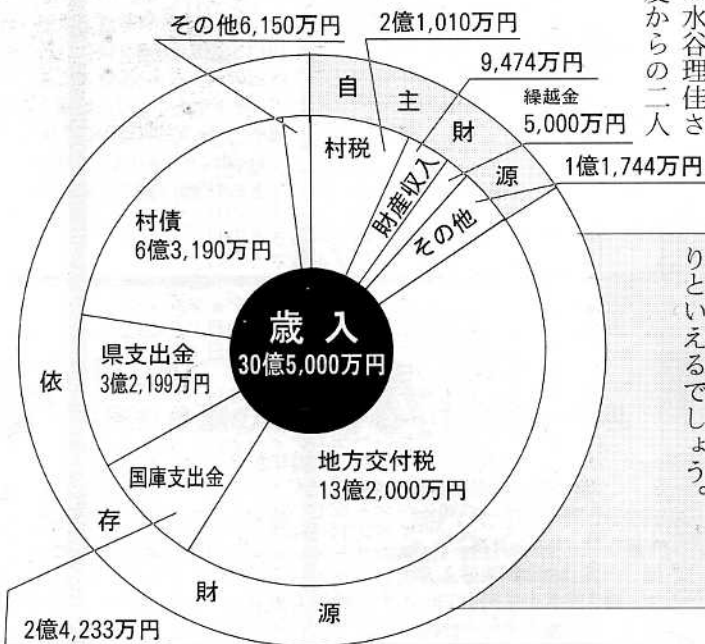
いきいき村のために働きます

先月号でもお伝えしましたが、二月に赴任した森の交流大使の水谷理佳さんと広江奈さん。新年度からの二人の活動が期待されます。

都会の女性に“山村アドバイザー”として活動してもらい若者に魅力ある山村づくりのお手伝いをしてもらおうというこの試み。都会の人むけの山村体験企画や新しい特産品の開発、村民の豊かな余暇の研究まで、その活動は広範囲にわたっています。任期は二年。都会の若い女性の感性は、村に新風を吹かせてくれることでしょう。



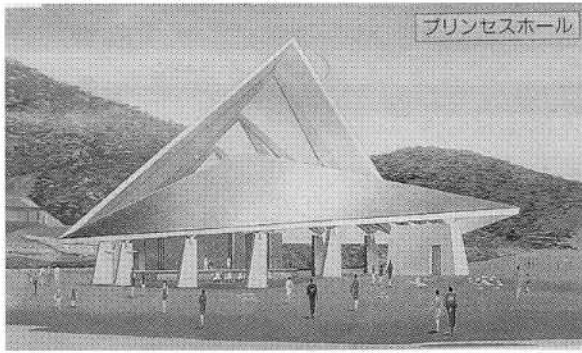
森の交流大使 広江さん（左）と水谷さん



施設整備などがあり、前年度より十五・〇四割が見込まれました。

自主財源の主体となるのは、村税収入です。新年度は、前年度に引き続き減税や長引く景気の低迷などを考慮に入れ、前年度とほぼ同額の二億千万円が見込まれました。また、村有林売却収入などの財産収入は、木材価格の低迷などで前年より減額となっています。

地場産業の振興などで税収など自主財源が多くなることは理想ですが、住民の皆さんへの負担になるようなしわ寄せのないよう配慮したやりくりといえるでしょう。



▲ 絵茶太鼓が演じるプリンセスホール

開幕まであと42日

花フェスタ '95

H7. 4. 26~6. 4

場所：岐阜県可児公園

会場内はもうJUN満載

「花」をキーワードにしたこの博覧会は、見どころがいっぱい입니다。その一部をご紹介します。

①花のゾーン 日本一のばら園や水上花壇、ハーブ園などの自然の美しさをダイナミックに演出したゾーン。

②夢のゾーン 暮らしの中の花かざりを演出したこのゾーンには、公園を一望できる花タワーがあります。

③人のゾーン バザール広場に楽座、各種パビリオンやメイン会場プリンセスホールなどがあります。

四月二十七日「ふるさとの日」

開会式の翌日四月二十七日は、可児管内二市九町村の「ふるさとの日」です。村からは、絵茶太鼓が出演。今回は、新しく組曲を完成させ登場するほか、会場となるプリンセスホールには、二四〇インチの大画面（ジャンボトロン）に村の四季の映像が映し出されます。この映像は、東海テレビの協力による本格的なもの。また、プリンセスホール隣の「日本一広場」では、ふるさと企画や四季の会の皆さんが物産販売を実施。「鮎雑炊」や「鶏ちゃん丼」など新しい商品も登場します。

無料バスの申し込みを!

この日は、バスを貸し切り小学校全年、中学一年生、老人クラブ員が、「ふるさとの日応援団」として出かけ

ます。また、このほかバス二台を用意して約百人の先着で、一般募集も行います。参加費は、無料ですが、入場券は参加者負担です。バザーを除けば村からの出演はこの日限り。皆さんぜひご参加下さい。

前売入場券好評発売中!

入場券種類	区分	前売入場券	当日入場券
普通入場券	大人 (18歳以上の方)	1,000円	1,200円
	高校生 シルバー (70歳以上の方)	600円	800円
	小中学生	400円	600円
バスポート (全期間通用券)	大人 (18歳以上の方)	3,000円	
	高校生 シルバー (70歳以上の方)	2,000円	
	小中学生	1,500円	

●前売入場券ご購入の方に「お楽しみ抽選会」があります。
(詳しくはチケットをご覧ください)

☆おもな景品

- ・サイパンペア旅行
- ・ペア宿泊券 (下呂温泉など)
- ・ホンダスクーター ほか3000点

問い合わせ・「ふるさとの日」応援団、前売券の申し込みは
役場林務商工課 (有線 5 15 5) へ

開催日	曜日	催し物	内容
4. 26	水	開会式、加藤登紀子コンサート	
27	木	可児県事務所管内「ふるさとの日」	
28	金	ぎふ世界の一流シリーズ「ふれあいコンサート」	
29	土	西田ひかるコンサート	
30	日	NHK「おかあさんといっしょ」	
5. 1	月	世界都市博覧会 '96 (仮称)	
2	火	かんでんお笑いバラエティー Part 1	
3	水	チェリッシュコンサート	
4	木	かんでんお笑いバラエティー Part 2	
5	金	「花と蘭丸の祭典」兼山町	
6	土	上々颱風コンサート	
7	日	OSK 歌と踊りのコンサート	
8	月	伊奈波県事務所管内「ふるさとの日」	
9	火	西南濃県事務所管内「ふるさとの日」	
10	水	スペシャルイベント 日本初公演民族舞踏団	
11	木	揖斐県事務所管内「ふるさとの日」	
12	金	造園緑化協会20周年記念イベント	
13	土	Sony・デー	
14	日	警察音楽隊「フローラルコンサート」	
15	月	「花の一人ミュージカル大爆発」	
16	火	飛騨県事務所管内「ふるさとの日」	
17	水	山県県事務所管内「ふるさとの日」	
18	木	土岐県事務所管内「ふるさとの日」	
19	金	益田県事務所管内「ふるさとの日」	
20	土	花フェスタGIFUコレクション '95	
21	日	フラワー&ブライダルファッションショー	
22	月	本巣県事務所管内「ふるさとの日」	
23	火	恵那県事務所管内「ふるさとの日」	
24	水	各種団体の日	
25	木	郡上県事務所管内「ふるさとの日」	
26	金	武儀県事務所管内「ふるさとの日」	
27	土	かんでんお笑いバラエティー Part 3	
28	日	日本ブラジル修好 100周年記念イベント	
29	月	フラワーパトニリレイイベント	
30	火	東海政局スペシャルイベント	
31	水	スペシャルイベント「夢に向かってもう一步」	
6. 1	木	夢に舞う情熱のフラメンコ、スペイン舞踏団	
2	金	かんでんお笑いバラエティー Part 4	
3	土	可児市ファイナル感謝イベント	
4	日	さだまさしコンサート、閉会式	

花フェスタ'95ぎふふるさとの日

魅せます 咲かせます 可茂の華 (可茂管内)

平成7年4月27日(木) 午前9時50分～午後4時10分まで



可児市 響け未来へ ふるさと太鼓

出演 志野太鼓
平成元年に結成。太鼓好きの男女7名が賑やかに会場を彩ります。

出演 ときわ太鼓
園児のリズム教育とふるさと意識を育てたいと幼稚園の教職員で結成。楽しく力強い演奏を披露します。

富加町 シルバー健康体操

出演 富加町シルバー健康クラブ
60歳から88歳のお年寄りがステージ狭しとダンスを披露。リクレーション、手話、国際交流など広いジャンルで頭と体のリフレッシュ。

白川町 音楽で綴る 白川町の四季

出演 白川女声コーラス たんぽぽ & バイブオルガン演奏
白川町のキャラクター「松男くん」が紹介する自然豊かな四季。映像とコーラスそしてバイブオルガンの美しい音色で綴ります。

七宗町 神湫神社祭典

出演 神湫神社祭典当番区
祭典の中から「天の岩戸」神話のクライマックスシーンを上演します。古式ゆかしい笛の音の旋律に合わせ舞い踊る天狗やおかめは、まさに異次元へのメッセンジャーとして我々を魅了してくれることでしょう。

八百津町 緑と水の優しい 町から興奮を!

出演 八百津太鼓保存会
地元の祭りやイベントで活躍中の八百津太鼓保存会は平成2年に結成されました。

出演 滝の会・八百津民踊研究会
どちらも文化協会に所属し、毎週一回を定例に練習を重ね地元のイベントに積極的に参加しています。



練習に力が入る檜茶太鼓のメンバー

美濃加茂市 逍遙のふるさと

出演 美濃加茂高等学校バスバンド部・バトン部
美濃加茂高等学校マーチングバンドとバトントワリングがステージいっぱいには若さあふれる演技を披露。

出演 牧野太鼓
にぎやかな祭り太鼓を創作鼓曲として再現。

東白川村 四季の映像を 和太鼓にのせて

出演 檜茶太鼓保存会
村の特産である東濃桜と白川茶から命名。ふるさとの四季を組曲にし、シンセサイザーと和太鼓の旋律にのせて、季節の移り変わりをジャンボトロン映像でご覧いただけます。

川辺町 川辺太鼓

出演 川辺太鼓
町制施行30周年を記念に結成。ビッグイベントへの参加経験も豊富で、力強い演奏を披露します。

坂祝町 ふれあいのまち

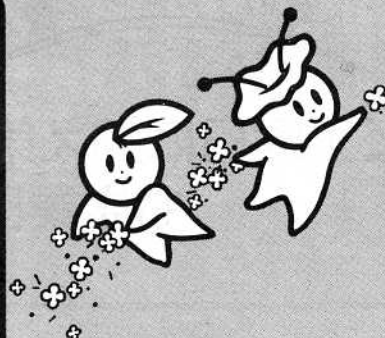
出演 坂祝町女声コーラス「サルビア」とその仲間たち
町の花に指定されている「サルビア」にちなんで命名されたサルビアコーラス。ホットな歌声で会場を包みます。

兼山町 森蘭丸生誕の地

出演 兼山鳥峰太鼓
戦国時代、兼山の地に斉藤正義が「鳥峰城」を築いたことから命名された鳥峰太鼓。この城を舞台に活躍した武將の物語をもとに裏から支えた女性太鼓として結成されました。

御嵩町 御嵩薬師祭礼

出演 御嵩薬師祭礼保存会
毎年4月1日に願興寺にて行われる祭礼の中の「蛭追獅子舞」を披露。蛭追は、蒼白の顔に朱の唇を持ち小枝を持って参詣者を叩いて廻るもので、叩かれることによって疫除げができると言われていました。



プリンセスホール(雅)

展開時間	市町村名	内容・演目
9:50～10:00	全市町村	オープニング
10:00～10:12	可児市	志野太鼓
10:13～10:30	*	ときわ太鼓
10:30～11:00	富加町	シルバー健康体操
11:00～11:30	白川町	女性コーラス&バイブオルガン演奏
11:30～12:00	七宗町	奇祭 神湫神社祭典
12:00～12:15	八百津町	豊年太鼓・蘇水峽太鼓
12:15～12:30	*	久田見小唄・蘇水峽音頭
12:30～13:00	美濃加茂市	美濃加茂高校バスバンド部・バトン部
13:00～13:30	東白川町	檜茶太鼓
13:30～14:00	川辺町	川辺太鼓
14:00～14:30	坂祝町	さかほろサルビア合唱コンサート
14:30～15:00	兼山町	蘭丸の里 兼山鳥峰太鼓
15:00～15:30	御嵩町	御嵩薬師祭礼
15:30～16:00	美濃加茂市	牧野太鼓
16:00～16:10	全市町村	エンディング

人遊々スペース

展開時間	市町村名	内容・演目
13:30～14:00	富加町	シルバー健康体操
14:00～14:30	白川町	バイブオルガン演奏
14:30～15:00	富加町	シルバー健康体操

おしらせ

こんにちは 社協です

社会福祉協議会では、生活福祉資金貸付のご相談に応じています。この制度には、住宅資金、修学資金等さまざまな種類があります。例えば、修学資金は、子弟が大学や高校へ進学する際、必要な経費の一部を無利子でお貸しするものです。詳しい内容や申し込みは、社協事務局までお願いします。

近づく統一地方選 村長・村議選は4月23日

今年で第十三回目となる統一地方選挙。四月九日(日)には、県議会議員選挙を、四月二十三日(日)には村長、村議会議員選挙を実施します。

統一地方選挙は、期日を全国で統一して実施するもので、今回選挙が予定される団体は全国で二千五百団体余、全団体の約四十割となっています。岐阜県では、県議会議員選挙のほか、東白川村長、村議会議員選挙を含む、二十七の市町村長選挙、五十五の市町村議会議員選挙が一斉に行われます。

この選挙は、私たちの生活を取り巻く地域社会のこれから四年間を任せる人を選ぶ大変重要な選挙です。有権者の皆さんは貴重な権利を無駄にしないよう、必ず投票に出かけましょう。

なお、都合により投票日に投票できない人は、不在者投票をしておきましょう。

詳しくは、選挙管理委員会までお尋ねください。

四月一日から雇用 保険法が改正されます

四月一日より雇用保険法の一部が改正されることになり「高年齢雇用継続給付制度」と「育児休業給付制度」が新設されます。

【高年齢雇用継続給付】

六十歳以上六十五歳未満の雇用保険被保険者の人が、六十歳時点の賃金額の八十五割未満の賃金で雇用されているとき、支払われた賃金の最高二十五割が支給されます。

※被保険者期間が五年以上必要です。

【育児休業給付】

雇用保険被保険者の人が、一歳未満の子を養育するため育児休業する際、最高で休業前の賃金日額二十割が支払われます。

※原則として、休業開始前二年間に十一日以上賃金が払われた月が十二か月以上必要です。

なお、被保険者が支給を受

けるためには、初めに、対象となる被保険者を雇用している事業主の届け出が必要です。

詳しくは、ハローワーク美濃加茂 ☎〇五七四(二五)二一七八までお尋ねください。

テロ・ゲリラの 防止にご協力を

加茂警察署では、「花フェスタ95」の開催に向け、過激派の動向を心配しています。過激派は、これまで成田闘争や関西空港建設反対などの活動として時限発火装置、爆発物を使用したテロ、ゲリラ行為や皇室関連施設に対して放火を行うなど極めて過激な行動を行っています。

「花フェスタ95」開催に際しては、多くの政府要人等の来県が予想されます。こうしたテロやゲリラ行為を事前に防ぐためにも警察の活動をご理解していただくとともに、もし、不審な人物を見かけた場合には、加茂警察署 ☎〇五七四(二五)二一四一までご連絡をお願いします。



今年の4月から学校が
第2土曜日に加え第4土曜日
も休業日となります

保健婦だより

「ブリックマン指数」をこ存じですか？

これは、喫煙本数とがんの危険度との関係を示す指数です。

この指数によれば一日吸う本数と喫煙年数を掛け算して四百以上の人は要注意。また六百を超える場合、八人に一人の割合で肺がんになるとか。

ただし、即刻禁煙して五年以上たてば、発がんの危険性はタバコを吸わない人に近いところまで下がります。喫煙者だけでなく周囲の人にも悪影響を及ぼすタバコ。喫煙が無理ならせめて節煙を…。

人間の詩「川柳」を

あなたも始めませんか

「ズバリ斬る、ホロリ泣かせる、チクリ刺す、ニンマリ笑う、ボンと膝打つ…」。

日ごろの生活がそのまま題材となる川柳はまさに人間の詩。川柳作品を見ることが楽しいですが、自分で作ればもっともっと楽しさが増します。

このほど、大明神の三戸侃夫さんと加舎尾の田口薫さんが中心になって川柳講座を開講します。月一回程度の講座に加え、NHK学園川柳センターの大木俊秀先生（元NHKアナウンサー）が選者として適切な添削指導も行われる予定です。紙と鉛筆さえあれば誰でも気軽に楽しめる川柳にあなたも挑戦しませんか。詳しい内容と申し込みは、三戸侃夫さん（有線三七〇二）または田口薫さん（有線三〇五一）までご連絡下さい。

けん銃のない

安全な社会を

最近、銃器を使用した凶悪な事件が多発しています。あなたの家には、戦時中のけん銃や小銃などが残っていませんか。けん銃などを一般

家庭で持つことは法律で禁止されています。旧軍人が使用したけん銃は、

終戦と同時に大半が回収されましたが、毎年全国で多数の軍用けん銃が発見され警察に届け出られています。これらのけん銃をそのままにすれば、犯罪や大きな事故につながる危険性もあります。

もし、発見した場合には警察に届け出れば何ら法に触れることはありませんので旧軍用けん銃回収にご協力下さい。【届け出・ご相談先】加茂警察署 ☎〇五七四（二五） 二一四一までお願いします。

国民年金保険料が

四月から変わります

役場から送られてくる納付書で保険料を納めている農業、自営業の方や学生などの皆さん、この四月から国民年金保険料が変わります。

【新しい保険料】

- ① 定額保険料 四月から、一か月一万一千七百円
- ② 付加保険料（第一号被保険者で希望する人）一か月四百円

【保険料全納割引制度】

平成七年四月から平成八年三月まで一年分の定額保

険料納付額が、十三万七千十円（毎月納付の場合、十四万四百円）になります。

・定額保険料プラス付加保険料が十四万千六百九十円（毎月納付の場合、十四万五千二百円）になります。

【保険料免除制度】

病気、失業、営業不振などの理由で、所得が少なくして保険料を納めることが困難な方は、国民年金窓口へ申請して下さい。承認されれば保険料の納付が免除されます。

詳しい内容は、役場住民課（有線二二六二）までお尋ね下さい。

けいじばん

【戸籍】（敬称略）

● 誕生おめでとうございます

- （平）＝村雲 和裕^{しやうた} 翔太（長男）
邦子
- （陰地）＝桂川 一喜^{ふたば} ふたば（二女）
のぞみ
- （西洞）＝田口 健二^{けんいちろう} 丈一郎（長男）
佳澄

● いつまでもおしあわせに

- 桂川 恒裕（黒 淵）
- 神子澤葉子（一宮市）

● おくやみ申し上げます

- 安江のぶゑ 92歳（大明神）
- 田口 はる 99歳（中 谷）
- 青木 正 70歳（日 向）

【戸籍】（敬称略）

【社会福祉施設整備指定寄付】

現金5万円＝安江道則（大明神）

現金5万円＝安江 巽（大明神）

【保健センター施設整備指定寄付】

現金10万円＝松岡安幸（陰地）

【社会福祉協議会へ】

現金10万円＝田口傳夫（中谷）

【神土保育園へ】

わらざうり50足＝古田かつの（上親田）

おやつざら50枚＝樋口春市（中谷）

プール備品＝保護者会・卒園児一同（20名）

【越原保育園へ】

演台1台＝卒園児保護者一同（15名）

【五加保育園へ】

整理ダンス1さお＝保護者退会者6名

テント1張＝平成6年度卒園記念・保護者会、
祖父母会一同

TOPICS

榮譽

地域に密着した活動が評価

JLCCが表彰を受ける



昨年夏休みの保育園訪問

このほど東白川村ジュニアリーダーズクラブ（JLCC）の皆さんが、岐阜県青少年育成県民会議の表彰を受けました。この表彰は、同会議が毎年行うもので、今回団体として表彰を受けたのは県内で六団体だけです。

東白川のJLCCは、村から白川高校へ通う生徒で組織するもので、中学校卒業後、ともすれば地域との交流が希薄になりがちな時期に、地域とのふれあいを目的に活動を展開しています。もちろん学校が最優先ですから、授業や部活動の合間を縫っての活動となりますが、それでも昨年は夏休みを利用し、せせらぎ荘や保育園の訪問、病院でのボランティアなどを行いました。現在会員は五十三人ですが、実質活動するのはわずか十六人。村の若者定住を考えると、うえでもこうした活動は大切になります。この機会に活動の輪が広がるのが一番の願いです。



表彰を受けたJLCC会長岡口香織さん

協力

福祉委員の呼びかけで

全校児童が一致団結

阪神大震災に対する義援金について、先月号でもお伝えしましたが、二月に入っても村や社会福祉協議会へ義援金が寄せられています。

東白川小学校では、福祉委員の皆さん九人が中心になって義援金を募りました。集まった義援金は五万二千七百五十八円。二月八日には、代表三人が義援金を持って役場を訪れました。

震災の起きた一月十七日は、偶然にも小学校の避難訓練の日。訓練後、木村校長先生が阪神大震災の惨状を子どもたちに伝えると、まず、五年生が独自に義援金を集めはじめ、それを受けた福祉委員の皆さんが「おこずかいの中から一円でもいいから」という呼び掛けを全校児童に行い義援金が集められたようです。

「思った以上に集まりびっくりしました。中には、二回出す子もあるなど、子どもたちが小さいながらも被害の大きさを理解したからではないでしょうか」とは福祉委員担当の尾崎先生。義援金は、日本赤十字社岐阜県支部と岐阜県共同募金会を通じ被災地に届けられました。



義援金を集め役場を訪れた福祉委員の皆さん

活動

集まったカレンダー千九百二部

有瑠美会が被災地へ発送



2月27日岐阜市の薬局へ送り出されたカレンダー

阪神大震災の被災地への救援活動は、いろいろな方面で展開されていますが、このほど村のボランティア団体有瑠美会が被災地向けカレンダーを送りました。この活動を始めたきっかけは、岐阜市にある薬局でカレンダーを被災地に送る運動を始めたという新聞記事を読んだこと。自分たちで何かお役にたてることはないだろうかと思ひながら考えていたとき、伊藤重雄さん（平）が新聞記事を見せてこの活動を教えて下さいました。最初は、平の界わいだけで集めようと始めたんですが、社会福祉協議会の皆さんの協力で、有線を通じて呼び掛けができたので、予想以上に集まって。中には村外へ勤めている人でわざわざ会社で集めてきてくれた方もあったんですよ。と話してくれたのは、有瑠美会の神戸啓子さん、沢木紀代子さん、伊藤貴代子さんの三人。約一週間あまりで集まったカレンダーは、実に千九百二部。二月二十七日には岐阜市の薬局へ届けられました。

話題集まれ!

活用

“究極のアウトドアライフとは” 山村活性化講演会

“人間は、狩猟や採集で生活していたころからアウトドアにできているんです。東白川には素晴らしいフィールドがありますから、何か生産性に結び付くものを仕掛けてやれば、村外からたくさん人が集まるのではないのでしょうか。”

去る二月二十七日、はなのき別館において、山村活性化講演会が開かれ、七十人を超える皆さんが参加しました。この講演会は、村と商工会、森林組合、JAが共催して行うもので今年が五回目。今回は「アウトドア活用、活性化をさぐる」と題して、アウトドアコーディネーター

洞口健児先生を招いての講演会となりました。近くでは、白川町や加子母村で野外活動施設の企画や設計にも参画している先生は、自然の要素は“静かさ”と“清潔さ”であることを強調。最近流行のアウトドアスポーツは野山を二本の足で歩くことが始まりであり、アウトドアライフは、突きつめれば、“農耕生活”

だからこの二点を考慮し、本物の直接体験ができるような企画が、自然を生かした活性化につながるという提言を下さいました。



熱っほく語られた洞口先生

大会

あまご釣りのだいご味は 寒さとの戦い

“約四百五十人が参加”。去る三月五日、恒例の「東白川中部あまごつり大会」が、越原藤の木橋えん堤下流約二キロで行われました。これほどの参加者が集まることは大会史上初めて。これも七百通を超えるダイレクトメールの送付や岐阜市内の釣具店へチラシを配付するなど、あの手この手で宣伝したスタッフの努力の成果でしょう。

この日は快晴だったものの、明け方の冷え込みは真冬を思わせる厳しさ。見ているときお先が小刻みに震え、魚にとっては微妙な誘いに…。愛知県東浦町から参加したご夫婦は、前日夜の十一時に来村。“初参加ですが、自然が豊富で良いところですね。二人とも釣りが好きで雪が積もっているところで釣ることもあるんですよ。”と愛好家にとって寒さは関係ないようです。



さおを入れるだけでも大変

この寒さの影響で心配された釣果も、大漁賞で大木重正さん（土岐市）が四時間で六十一匹と上々だったようでした。



5匹の重量で競う特別大漁賞の検量

躍動

越原地区が上位を独占 激戦続いた綱引き大会

“見ているだけで思わず力が入ってしまう…”。冬のイベントとしてすっかり恒例となったこの綱引き大会。今年の参加は三十三チームで、昨年よりも数こそ減りましたが、そのぶん左の結果のように激戦続きの大会となりました。今回から全ての試合が、一本引きのリーグ戦。特に激戦となったのは四十歳以上の部。親田、大明神、越原下、五葉の四チームが、リーグ戦でも一敗で並び番外、“相星決勝”も行われる激戦ぶり。

そんな中、無差別級で優勝した男子の親田岩と女子の大明神は、ともに始まるやいなや一気に引く“省エネ戦法?”で相手を圧倒。強さを遺憾なく発揮したチームもありました。

種目成績	39歳以下		40歳以上		無差別級		総合の部
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
優勝	五加B	大口、平	親田	親田(若)	大明神		越原上
準優勝	栃山黒淵	越原下B	大明神	越原下	五葉		親田
3位	大口、平	新田	越原下	五葉	五葉		越原下



ついつい力が入りすぎて……



小学校マラソン大会より

今月の笑顔さん

三月 弥生 浅春 露の臺
ふきのとうをてんぷらにする。
ほろにがい……。

油で炒めて味噌をまぶす、ほろにがい。ほろにがいけど旨い。そこで感心することが二つあります。この苦いものを最初に食べた人はとても偉かったなあ、そして苦いものを「旨い」と思う人間の味覚の不思議さ。

ふたつめは「露」という字の何と味のあることよ……。草冠に露、ふと気が付くと露傍にひっそりと花開く、その風情、踏まれても育つ生命力、独特のあの匂いまで感じられそうな字だと思いませんか。

こういう字に出会うと、日本に生れて良かった、と思うのはおおげさでしょうか。

桃月、春雪、卒業式

みんなが公園……のよつたよつた。入る。ジ

合唱から学んだ大切な財産

今井克武(西洞)

今年の春、私たち四十三人の仲間は、東白川中学校を卒業し、それぞれ別々の道歩んでいきます。ここにいたるまでの九年間の義務教育は、自分たちがとても大きく成長することのできた時間でした。その中でも特に中学校での三年間は、仲間とともにたくさんのことを学び、充実した生活を送ることができました。

東白川中学校は、伝統のある学校です。合唱は昔から、東中の財産であると聞いています。私たちは三大行事の合唱フェスティバルや音楽の授業、短学活の歌を通して一年生の時から上手くなるうと練習を重ね、今では最上級生として、自分たちの合唱を高め、自分たちに自信を持つことができました。このことは仲間とともに大切な財産として残したいと思っています。

最後に私たちをここまで大切に育てて下さった、両親と恩師の先生方に感謝したいと思います。ありがとうございます。

お便り



今井克武さん



職場から

岐阜部品 工場では、この二月からフィリピンの研修生を受け入れました。研修生の皆さんは、

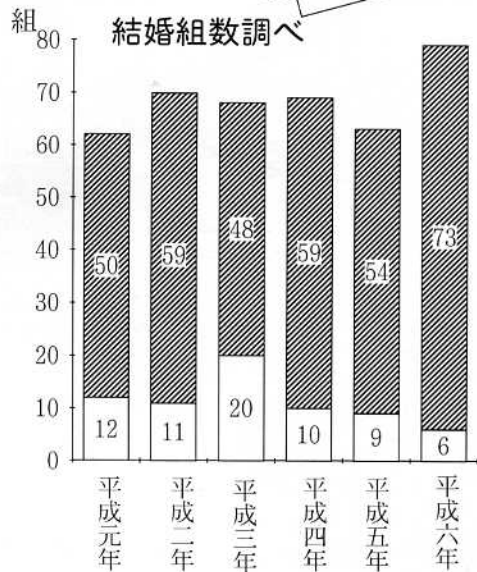
二十一歳から二十九歳までの女性で総勢二十人。滞在期間は半年間です。岐阜部品が外国からの研修生を受け入れるのはこれが三回目。フィリピンには、矢崎総業関連工場が三か所あり、約五千四百人の従業員がいるそうです。彼女たちは、そこで働いており、今回は日本工場研修で来村となったもの。言葉の障害は多少ありますが、みんなまじめですし、熱心に取り組んでくれますよ」と話してくれたのは名倉工場長さん。期間中、月に一回くらいずつ、日本文化に触れる目的でショッピングなどの課外研修もあるそうです。



村雲 千華ちゃん
(史朗さん・京子さん
一女子補付)

このコーナーの子どもたちみな同い年。
10年後、20年後「広報」をみればホラ！
1歳のあの子の顔が……

2 ツーショット 新婚さん



今月は、ツーショットを一回お休みして、村の結婚組数についてのデータを紹介しましょう。

右のグラフは、過去六年間の結婚組数を表したものです。下の部分は、結婚後にも村内に住んでいる、または結婚して村内に戻ったカップルの数で、上は、村外に嫁いだり、結婚後村外に住んでいる人の数です。

婚姻届は、ご主人または奥さんとなる人の本籍地か住所地への届け出が必要です。右のグラフは、役場の

窓口へ届け出のあったものと、届け出のあった他市町村の役場から本籍地である村の役場へ婚姻届が送られてきたものとを合わせた数です。結婚する人が少ないといっても、毎年六十〜八十組くらいの新婚カップルが誕生していることがわかりますが、反面、結婚後村内に住む人の数が著しく少ないこともわかります。これは、若者定住が少ないということにほかなりません。今年は何組のカップルが村に誕生するでしょうか。

今月のことば

人間以外の動物の最大の仕事は、種の保存です。しかし人間は違う。子育てを終えてからの人生、種の保存以外の存在意義が問われる

三石歳93歳(物理学者)

集落めぐり 上親田

「神土村の開起は、白川を境にして、北西の地域の方が早く開拓され、これら「本郷」に対し、川の東側にあたる地域、すなわち新田(新開地)が転じて新田となりやがて親田と呼ぶようになった。」(新修東白川村誌より)。村誌では、地名の由来がこのように説明されている親田地区。地元にはもう一つ別の説があります。

かつては、現在の神明神社付近から安江林さん宅(屋号/五六場)までの筋が「親田本郷」と呼ばれていました。寒いところだったこの地では、苗を早く作るために二、三軒共同で清水がわく、暖かいところに苗代専用の田んぼを作っており、この田のことを「親田」と呼んでいたそうです。その親田が、ほ場整備以前までは、安江林さん宅前にあったとか。地元にはもう一つの名考です。

図書室発・あなたへ

電話も飛行機もない時代。文通もままならず、船で四十日以上もかかる二つの国の間に、ひとつの国際結婚があった。留学先のイギリスで出会ってから二十二年近い歳月が流れてもなお、二人を結びつづけたのは、愛を全うする強い意志の力だった。

最後まで日本を愛そうとした一人のイギリス人女性エセルと陸奥宗光の長男・廣吉との一大ロマンです。



「純愛」
下重 暁子著



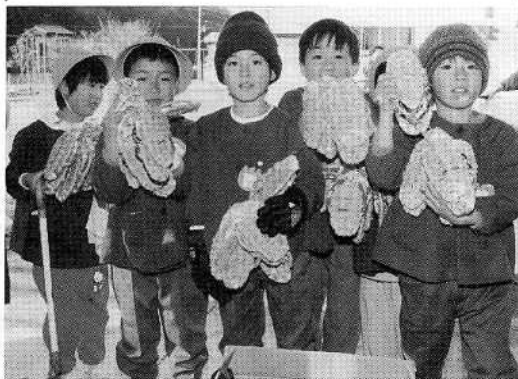
わが家のスター

ホットアングル



おばあちゃんありがとう

神土保育園の園児に上親田の古田かつのさんからわらざうり50足のプレゼント。古田さんは、5年前から毎年欠かさず手作りのわらざうりを神土保育園に贈っています。届けられた段ボールを開けた子どもたち。色とりどりのわらざうりを取り出して大喜びでした。



▶牧野 真也くん
(友紀央さん・美幸さん
二男)陰地)



大根のでっかいおでん湯気立つを眼鏡くもらし箸で壊しぬ
 戦友は皆老たりと云えど威勢よし兵たりし日の昔のままに
 いとおしや大震災の阪神の惨状映る昨日も今日も

安江 香
 安江 化平
 安江 嘉久一
 小雪舞ふテニスコートに球鳴りて眉しかめつつ吾ら競へり
 テレビに知る地震の恐さ半月後も瓦礫の中に生理めの人
 茶の村と誉れ高き茶畑野に茶の実の落つるかそかなる音
 老二人共に労わる年令となり一人参加の旅はためらふ
 地震に人ら彷徨中を野犬の群大阪に向いて走るを見たりと

味嘈仕込むと水満たす桶に鏡の如薄ら氷張れり凍著き今朝
 吾が身にも置きかへて哀し震災に老ひて病みある人々多き
 ●野仏のひっそり並ぶ山道に春も近きかあざみ芽ぶけり
 ●労りつつ冬越えむとす老夫婦春待つ庭に臘梅ひらく
 新き命生れて被災地にその泣き声の救ひとなれりと
 牡丹雪手に受け忽ち解けてゆくその儚さに心うばはる
 ●子供等は氷柱だじと真赤な手に泣きべそ顔で家に持ち込む

安江 澄
 今井 かな
 安江 節子
 安江 龍玉
 三戸 きり
 小林 道子
 早瀬 久子
 安江 順子
 安江 とくよ
 荻田 清美
 田口かずみ
 安江 守平
 安江 すみよ
 今井詩愉一
 伊藤 美枝
 伊藤 重雄

あなたも作品をお寄せください●偶数月の二十日までに神戸伊藤重雄宛に出してください。

発表の作品



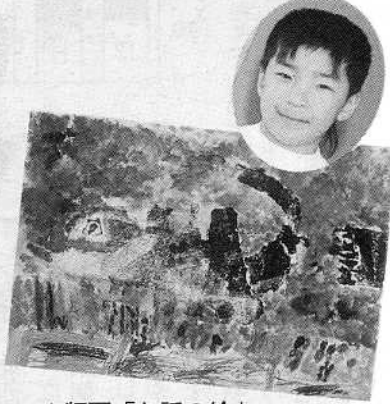
▲「おひなさま」
 神戸保育園 やすえさやかちゃん
 (下親田)



▲「おひなさま」
 神戸保育園 やすえたまみちゃん
 (上親田)



▲版画「友だちの顔」
 東白川小学校4年生
 今井秀哉さん(黒瀨)



▲版画「お話の絵」
 東白川小学校1年生
 安江誠さん(柏本)



▲スクラッチボード「自画像」
 東白川中学校2年生
 安江昭仁さん(上親田)



▲スクラッチボード「自画像」
 東白川中学校2年生
 今井政志さん(大沢)

2月号私の作品のコーナーで安江さくらさんは4年生が6年生の誤りでした。お詫び 訂正の上お詫び申し上げます。



マグニチュード七・二、死者五千四百四十一人、負傷者三万四千六百六十三人、住宅の被害は、全壊、半壊、一部破損合わせて十九万六千三百五十九棟、一月十七日午前五時四十六分に発生した阪神大震災、テレビ等で第一報を聞いたときには、このような大災害に発展しようとは、とても想像できなかった。新聞、テレビは、毎日のように大震災のその後の状況を伝えていく。▼先日、知人の見舞いにある外科の病院を訪ねたが、その患者さんの車イスや松葉杖を使いながらの生活に接すると、何だか健康である自分が申しわけないような気持ちにさせられた。▼今、毎日三度の食事にも事欠くことのない生活を送ることのできるありがたさを痛感する。▼今すぐ現地へ行くことはできないが、被災地の皆さんにこれからの復興に頑張ってもらいたいと思う。

二月末記

(D)